

人権委員会だより

2014. 11. 14 発行

文化祭「ひだま里カフェ」報告

10月29日の文化祭で人権委員会は、障害のある方の就労事業所「ひだま里」からスタッフとメンバーの方をお迎えして、「ひだま里カフェ」の運営を行いました。今号の人権委員会だよりでは、これらの活動内容と事前に実施された学習会の様子を紹介したいと思います。



1 事前学習会について

「ひだま里」から森兆暢さんを講師にお招きして、文化祭の事前学習会を行いました。「ひだま里」の施設についての説明と障害についての基本的な知識や障害のある方との接し方についてお話をいただきました。



<事前学習会の感想>



- ・障害のある方たちが働ける場所があるということは、とても良いことだと思いました。働いている方たちが、安心して働きやすくとても居心地良いと聞いて、楽しそうだと思いました。
- ・今日のお話を聞いて、「ひだま里」は利用者さんたちにとって癒しと和みと安心と楽しみの場所だと思いました。仕事も頑張っていて本当にすごいです。自分も負けずに頑張りたいです。
- ・今日の学習会で、「ひだま里」での仕事の内容を聞いて利用者の方が自分の体調にあわせ、充実した時間を共有しながら作業や活動に励むことができるというのはとても素晴らしいことだと思いました。互いの気持ちを分かり合える人たちと同じ時間を共有できるので素晴らしいと思いました。
- ・今日の話聞いて、「ひだま里」の人たちは一人ひとりの得意なこと不得意なことを理解し相手のことをきちんと考えてくれる優しい人たちばかりなんだと思いました。

2 「NPO法人ほっとねっとひだま里」について

「ひだま里」は、北条家族会のエコーグループから、平成17年の秋に「NPO法人ほっとねっと」が受け継ぎ、地域における精神保健福祉活動を行っています。作業内容は、配食弁当作り、シフォンケーキ作り、水口酒造の内職などです。毎朝ミーティングを行い、体調に合わせて、その日参加できる作業を行います。

「ひだま里カフェ」は、実際に北条の「^{なごみ}和ホスピタル」において週2回オープンしている喫茶店です。文化祭では、精神障害のある方たちと一緒に、飲み物とシフォンケーキを販売しました。



3 文化祭の様子



<ひだま里カフェを体験した感想>



- ・障害のある方と一緒に活動するということが始めてだったのでとても緊張しましたが、どの方も優しく接してくださり、作業の内容について丁寧に教えてくださったので、とても安心して行うことができました。
- ・私は初めての接客だったので、とても緊張してミスをしてしまいましたが、「ひだま里」の人たちが優しくフォローしてくださり「気にしなくていいよ」と声をかけてくれたのでとても嬉しかったです。
- ・自分達よりも、「ひだま里」の人たちの方が状況を把握して動いていたのですごいいいと思いました。障害があっても互いに協力しながら作業をされていた。
- ・今日は「ひだま里」カフェを体験して、とても楽しかったです。自分は2回目だったので、改めて、接客の仕方を学んだり、障害のある人達と協力して一つのことをやり遂げることができて、自分も少し成長できたと思います。この体験で学んだことを将来に活かしたいと思います。

